

所 報

◆役員会の開催

日時・場所 2月19日(月) 於会長事務所
 出席者 小林会長, 東畑名誉所長, 小倉所長, 渋谷理事,
 染谷理事, 植村監事, 渡辺監事, 阪田総務部長

議事概要

1. 昭和43年度予算査定について
2. 第2期ビル建設について
3. その他

◆現地調査の実施(2月出発)

調査国名	氏名	現職	調査課題	期間
タイ, ラオス, 南ベトナム, カンボジア, シンガポール, インドネシア, フィリピン, 香港	原田義信 糸賀 滋	当研究所動向分析部長 当研究所動向分析部	東南アジア諸国の政治経済動向	昭和43年2月10日 ~同年3月13日
台湾, フィリピン, タイ, インド	植木三郎	当研究所調査研究部主任調査研究員	アジアの金融事情	昭和43年2月14日 ~同年3月27日
レバノン, アラブ連合, ヨルダン, イラク, フランスおよびイギリス	林 武	当研究所調査研究部主任調査研究員	現代アラブ・イスラーム地域における社会変動	昭和43年2月16日 ~同年3月30日
オーストラリア, ニュージーランド	大杉一雄	当研究所図書資料部参事	オーストラリアおよびニュージーランドにおける投資環境	昭和43年2月21日 ~同年3月31日
パキスタン, セイロン, インド, ビルマ	村岡徳人	当研究所統計部統計第2課	農業統計に関する調査	昭和43年2月28日 ~同年3月29日

◆在外職員の動き

(1) 出 発

氏名	派遣地	課題名	出発月日
竹下秀邦	クアラルンプール	マレーシア・シンガポールの経済発展過程——工業化政策とその基盤——	2月2日
林 俊昭	ニューデリー	インドの経済計画の評価とその発展方向	2月15日
桜井 浩	ソウル	農地改革後における米作農業の展開過程	2月25日

(2) 出 張

氏名	出張目的	出張地	期間
大岩川和正	キブツの実態調査のため	デガニヤ村	1月25日~2月6日
田島秀夫	ビルマの最近の経済事情調査のため	ラングーン	2月15日~2月21日
原口武彦	コートジボワールとガーナのコーヒー・プランテーション農業の比較調査のため	コートジボワール東部およびガーナ	2月18日~2月21日
竹下秀邦	シンガポール経済事情の基礎資料調査のため	シンガポール	2月26日~2月29日
向坂 浩	炭坑・油田等産業調査のため	チュブツ州コモドロ・リパタビアなど	2月26日~3月6日

◆海外からの来訪者

2月中の海外からの来訪者はつぎのとおりである。

(1) 2月1日, Dr. V. N. Muruti (Fulbright-Hays Faculty Fellow, College of Business Administration, Bucknell University, U. S. A.) が日本における農業改革, 特に農業に対する財政投融资, 共同組合等による共同購入, 共同出荷等の流通機構, 品種改良に対する技術指導などの問題について意見交換のため来所。小倉所長, 笹本調査研究部長, 梶田図書資料部長, 根岸調査業務部長, 石井調査業務部編集第2課長, 高林図書資料部収集課長が出席した。

(2) 2月5日, Mr. François Van Hoek (Head of Training and Cooperation Division, OECD Development Centre) が当研究所との協力関係について話し合うため来所し, (i)アジア地域の情報センター設置, (ii)アジア地域の研究所長会議開催について話し合った。東畑名誉所長, 笹本調査研究部長, 梶田図書資料部長, 根岸調査業務部長, 田部経済成長調査部主任調査研究員, 高林図書資料部収集課長が出席した。

(3) 2月22日, Mr. Klaus W. Bender (Deputy Director, Friedrich-Ebert-Stiftung EV Asian Labor Institute, West Germany) が当研究所の研究内容, 方法等に関する討議のため来所。根岸調査業務部長, 長井調査研究部主任調査研究員, 高橋彰調査研究部主任調査研究員が出席した。

(4) 2月27日, 崔千松氏(大韓民国保健社会部社会保障審議委員会企画室長), 文炳鏞氏(大韓民国中央大学校教授, 社会開発大学院副院長)ほか2名が当研究所の機構, 研究活動状況等について懇談のため来所。染谷理事, 笹本調査研究部長が出席した。

(5) 2月27日, Dr. Otto Schiller (Prof. of Agr. Economics, South Asia Institute of Heidelberg University, West Germany), D. H. R. von Uexküll (Kali-Kenkyukai [Potash Research Association]) がアジアの土地改革について意見交換のため来所。小倉所長, 梶田図書資料部長, 萩原調査企画室長, 斎藤一夫調査企画室主任調査研究員, 中岡調査研究部主任調査研究員, 石川滋一橋大学教授ほか関係職員が出席した。

◆所内研究会

2月中に行なわれた所内研究会は, つぎのとおりである。

宮治一雄「アルジェリアの社会主義」

山田睦男「ラテン・アメリカの経済発展とその主体」

戴 国輝「日本人による台湾研究」

◆出版案内

1. アジア経済調査研究双書
 - 第142集 『解説アジアの統計Ⅲ』
 - 第143集 『共産圏の貿易構造』
 - 第145集 『世界の商品Ⅰ——砂糖——』
 - 第147集 『中国の財政制度』
 - 第151集 『ラテン・アメリカ経済統合と経済開発』
 - 第155集 『世界の商品Ⅱ——ココア——』
2. 研究参考資料
 - 第133集 『インドの工業立地概観』
 - 第134集 『アジア諸国の経済成長と援助』
 - 第135集 『アジア諸国の産業構造と工業化』
3. アジア・アフリカ文献解題
 - 第1集 『アジア経済関係文献目録』
 - 第2集 『中国文化関係文献目録』
4. 『アジア経済資料月報』第10巻第1号
5. 英文機関誌 *The Developing Economies*, Vol. V, No. 3.
6. 『海外経済資料』第4巻第12号
7. アジアを見る眼
 - 第16集 『フィリピンの経済』
 - 第18集 『海外投資と法律』

『アジア経済』次号予告

- 慣行的農業の変革理論——シュルツ
理論の検討.....川野 重 任
中国共産党の都市解放政策.....小林 弘 二
革命前メキシコの木綿工業における企業者
精神の生成——オリサバ地方のフランス
移民企業者のケース・スタディ.....山田 睦 男
シンガポール華人と中国.....岡 部 達 味
- 統計解説
ビルマの貿易統計.....統 計 部
- 資 料
クウェート経済の近況.....中岡 三 益
インドにおける政治的腐敗.....大 内 徳 壽
- 書 評
原覚天著『現代アジア経済論』.....森 田 桐 郎
G・セデス著『インドネシア半島の人々』..高 橋 保
R・W・パイ著『政治発展の諸側面』....木 村 修 三
- 現 地 報 告
パキスタンにおける中小規模工業の現状..高 橋 保